

令和5年度 学校評価について

学校法人 千成学園
幼保連携型認定こども園
千成幼稚園

本園では自園での教育・保育を振り返り、主体的に改善に取り組むために課題を明確にすることを目的として、学校評価を実施、公表しています。

本園の教育・保育について

教育理念

人としての基礎を培う大切な幼児期だからこそ、自然環境の中で外遊びの充実を図り、生きる力の基礎を育みます。ヒト・モノ・コトとの出会いの中で、知ることよりも感じることを大切に、遊びを通して豊かな心が育つよう一人ひとりに寄り添う保育を目指します。

教育方針

幼稚園は子どもが主役の場所です。一人ひとりのありのままを受け止め、自分を好きな子であってほしいと思っています。自己を発揮できるようになると友だちの心に気づくようになります。園生活の中で友だちや先生と遊びを通してたくさんの経験を積み重ね、心と体が育っていきます。様々な場面で感動や発見に出会い、子どもの心が動く瞬間があります。その瞬間を大切に捉え、好奇心や探求心が育つよう一人ひとりの子どもの心によりそった教育・保育を目指しています。四季の移り変わりや伝統行事など年間を通して子どもたちに「本物」にふれる体験を保育の中に積極的に取り入れ、自然環境の素晴らしさ、地域の人たちとのふれあい、日本古来の伝統文化に実際にふれること、体験をすることを大切にしています。五感で感じ一つひとつの経験の積み重ねが、一人ひとりの生きる力の源になります。園生活だからこそ友だちと共に育ちあい、充実した日々を送ってほしいと願っています。

教育目標

心も体も健康なこども

外遊びを中心に自然に囲まれた広い園庭で、遊びを通して生きる力を育みます。様々なことに出会い五感で感じながら、前向きに取り組める柔軟で豊かな心が育つことを目指しています。

自分で考え行動できるこども

生活をする中で人と過ごす心地よさや葛藤など互いに影響し合いながら、判断する力を育みます。たくさんの人や物と関わり、共に育ちあうことを目指しています。

自分のことも 友だちのことも 大切にできることも

一人ひとりをかけがえのない存在として尊重し、自己肯定感を育みます。

自分のことを好きになり温かい人間関係を大切に、人への信頼感を高めることを目指しています。

千成幼稚園の一年を振り返り

コロナウイルスへの対応が5類に変わり、園行事や日常生活のリズムが整えられてきた。

行事関係においては、一部3部制に分けたりし工夫して開催してきた。振り返るとこの改定型の行事の良さも感じる事ができ、来年以降はどのように開催していくかを職員とよく検討をしていきたい。園児数も多かった一年であり、千葉県知事より、千葉県自然環境保育の重点型の認証を受け実際に知事が視察にお越しくださったり、市役所関係者との協議も行ってきました。自然環境保育の良さを千葉県内外に発信する役割を担っており、今後も研鑽を積んでいきたいとおもいます。

学校関係者評価委員の評価

幼児教育だけにとどまらず、地域との関係性を強め、様々な取り組みをされていることに自治会としても感謝申し上げます。子どもたちの声が地域の中にあること、そして保護者の方も送迎など千成団地内を往来することで地域としても静まり返っているわけではなく賑やかになることは良いと思っています。そのなかで車の事故やスピードには十分注意して頂きお互いに安全で安心な地域作りに協力してください。また行事等でも地域の方々をお招きいただきありがとうございます。高齢化が進んでいる地域ですので是非子どもたちとなにかご一緒する機会や時間があると喜びます。これからも良い幼稚園を目指し、地域作りにご協力ください。

財政状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

以上

令和6年4月5日

学校評価検討会出席者

千成自治会 自治会長 事務局長 地域住民の方
千成学園 評議員 理事長 園長